

東日本大震災チャリティー講演会アンケート結果

あなたがこの講演に参加された目的を教えてください。

認知症関係

- 認知症者の支援
- 認知症者・高次脳機能障害支援に興味があり
- 認知症・高次脳機能障害のためのツール
- 認知症についての事を知りたく、何かアイデアがあったら・・・
- 現在認知症がある人、高次脳機能障害がある人の直接的支援をしているため、即効性のある支援方法の一つとしての知識を得る為
- 認知症者支援機器の情報収集
- 震災時の高齢者の生活、支援に興味があった。認知症高齢者介護の勉強をしているので。
- 認知症の人をはじめとする家族の介護において、便利な機器の情報、開発状況などを知りたいと思った。また大震災等の危機状況において、介護が必要な人たちにどのような機器が有用だったか。今後必要なものはどんなものか。情報をほしかった。
- 機器による認知症の支援はどのようなことができるのか知る為
- ソーシャルワーカーとして東北へボランティア活動をしに行くつもりでいる。その時にしっかりと認知症高齢者を支援できるように、情報を収集したいと考えた。
- 認知症介護分野に自らの仕事を生かすことができないか、を勉強するため
- 認知症関連の周辺情報を収集
- 認知症に関する情報を得る為
- 認知症・高次脳機能障害者をデザインの視点で支援する という趣旨が興味深かったから。

高次脳機能障害関係

- 認知症者・高次脳機能障害支援に興味があり
- 認知症・高次脳機能障害のためのツール
- 現在認知症がある人、高次脳機能障害がある人の直接的支援をしているため、即効性のある支援方法の一つとしての知識を得る為
- 高次脳機能障害を支援する機器について知りたい
- 高次脳機能障害のツールや支援に興味を持っていたから。

- 認知症・高次脳機能障害者をデザインの視点で支援する という趣旨が興味深かったから。

震災関係

- 介護関係者として震災復旧に何ができるか、どう備えるか。認知症ケアの中を広がる為。
- 東日本大震災に関する情報収集と教訓
- 震災時の高齢者の生活、支援に興味があった。認知症高齢者介護の勉強をしているので。
- 認知症の人をはじめとする家族の介護において、便利な機器の情報、開発状況などを知りたいと思った。また大震災等の危機状況において、介護が必要な人たちにどのような機器が有用だったか。今後必要なものはどんなものか。情報をほしかった。
- ソーシャルワーカーとして東北へボランティア活動をしに行くつもりでいる。その時にしっかりと認知症高齢者を支援できるように、情報を収集したいと考えた。

福祉機器

- 介護用品・福祉機器の企画・開発のため
- 福祉支援機器についての情報収集のため
- 高次脳機能障害のツールや支援に興味を持っていたから。震災時の認知症や障害のある方の状況や活動報告を聞きたいと思ったから。

情報機器

- 情報機器などの活用について最近の状況を知りたいと思ったため
- 情報機器の情報を得たいため

デザイン

- 高齢者中心の介護環境へのデザイン領域の関わりに関心抱いている

その他

- 内容に興味があり、チャリティーにも賛同したため。
- 午後の部の報告を聞いたかった
- リハビリテーション工学の興味がある為
- 東日本大震災チャリティー講演会での講演内容に興味・関心を抱いたため

- コミュニケーション支援機器について知りたい
- 研究報告をお聞きするため
- 講演依頼がきたため
- 情報収集
- 勉強のため
- 講演内容に興味があったから
- 情報収集
- 高齢者の生活支援のための、先端技術について学びに参加しました。

関心を持たれた発表内容について、どのような点が興味深かったですか？

認知症関係

- 車イス事故と対策、認知症関連
- 認知症ケア福祉機器、環境設備とデザイン
- メンタルコミットロボット「パロ」・・・本物のペットを使ったアニマルセラピーの方が理想と思うのですが。その代わりとしてはありだと思います。現実アニマルセラピー（というかペットを飼っている）をしている施設もあるので???という感じは否めませんでした。安田先生のような工夫も大変興味深く感じました。
- 加藤先生の発表・・・震災の現地での生々しさが印象的であった。安田先生も発表・・・アイデアを試作する行動力とカベを作らないアプローチが興味深かった。

高次脳機能障害関係

- 高次脳機能障害を支援する機器
- 認知症の方が、新しいことを覚えるのにどのくらいかかるか、また、どのくらい利用してもらえるのか興味ありました。

震災関係

- 震災において介護を必要とする人々の状況が分かった。
- 東日本大震災での施設での対応
- 仮設住宅について初めて知りました。デザインについてオモシロそうなのでもっと聞きたかった。
- 震災関連のニュースは目立つところのみが報道されていたが今回で様々な支援を知り、特にシームレスなコミュニティを実現するための仮設住宅に興味が増えました。
- 加藤伸司先生、鎌田実先生、仮設住宅の問題点。震災時の具体的な現場の状況

- 震災関係の報告
- パロの発表
- 震災時の被災地の施設、本気の避難訓練のおかげで当日にスムーズな避難が可能になり、全員が助かったという点。セラピー用ロボットパロが被災地でも使われてメンタルケアに役立ったこと、当事者の立場からの震災時の報告・体験を通してこれから気をつけていること等。

福祉機器

- 安田先生ローテク
- 安全な自立生活を持続するための支援機器（セーフティオレンジ）・パートナーロボットとの対話による高齢者支援
- デザイン、いろいろな支援機器の開発状況
- 生活支援にかかわる機器について、数々の事例で紹介いただき、興味深く聞かせていただきました。
- パートナーロボット パペロが対話式であること。認知症薬の紹介。貼り薬ができたことは朗報だと思いました。

デザイン

- 仮設住宅について初めて知りました。デザインについてオモシロそうなのでもっと聞きたかった。
- 認知症ケア福祉機器、環境設備とデザイン
- デザイン、いろいろな支援機器の開発状況
- デザイン領域からのアプローチ→デザインする視点に多くの気づきがあり勉強になりました。ありがとうございました。
- 大島千帆さんの発表・・・How to だけではなくどう考えるのが大切である。という点。山崎正人さんの発表・・・対人援助
- コミュニティケア型仮設住宅・デザインの方向
- 長期間に及ぶご家族の介護を基盤に、膨大なデータを整理され、これらの発展・改良されて、教材や人材育成にまで展開を図っておられる、山崎先生の研究姿勢・並びに今後のデザインによる多様な展開が期待されます。
- 安田清先生の発表。様々なアイデアで支援をされていて、しかも先生ご本人も楽しんでアイデアを出されているようでおもしろかったし、実践的だと思った。

住宅

- 午後の部1・2・4・6題目、2題目は在宅の方々が対象でしたが病院の環境設備にも大変参考になりました。

- 大島さんの住まいの工夫の事例から学ぶこと。在宅での工夫の蓄積と効果のあり方について、応用できそうであったので
- 大島千帆さんの発表・・・How to だけではなくどう考えるのが大切である。という点。山崎正人さんの発表・・・対人援助
- コミュニティケア型仮設住宅・デザインの方向

服薬

- 服薬支援について
- パートナーロボット パペロが対話式であること。認知症薬の紹介。貼り薬ができたことは朗報だと思いました。

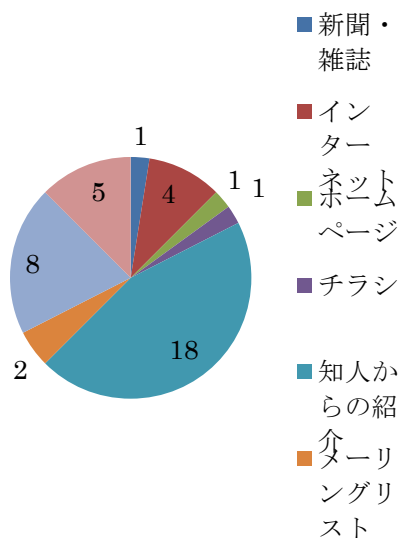
車いす

- 車イス事故と対策、認知症関連

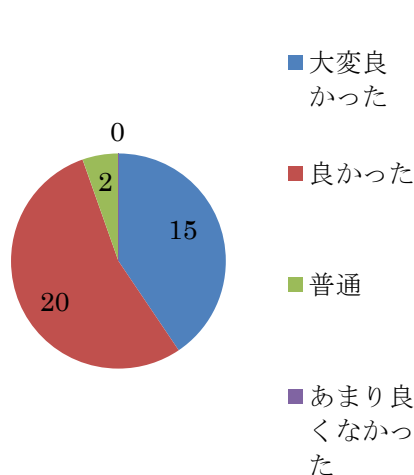
その他

- 音楽療法での安田さんの話が興味深かった
- 全体的に、もの・ツールが支援することのメリット、意義がアピールされていると感じた。誰がやっても支援にバラつきがないこと等改めて気づかされました。
- 機器を使ってもらうためのインターフェースの問題
- 具体的な事例

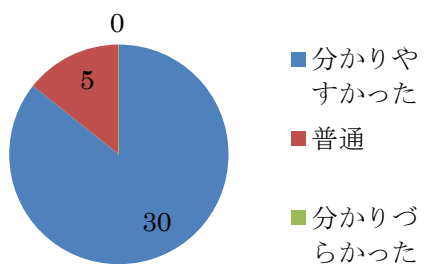
今回の講演会を何で知りましたか？



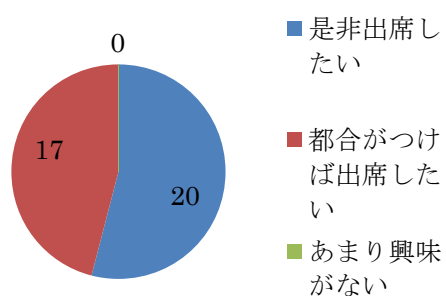
今回の講演会はいかがでしたか？



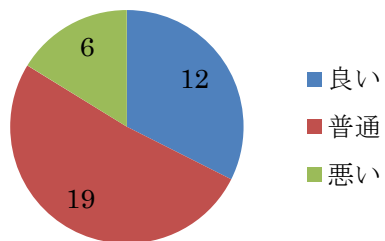
発表内容はいかがでしたか？



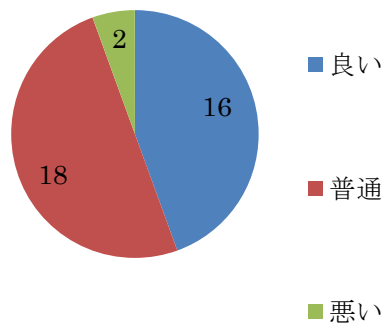
またこのような講演会に出席したいと思いますか？



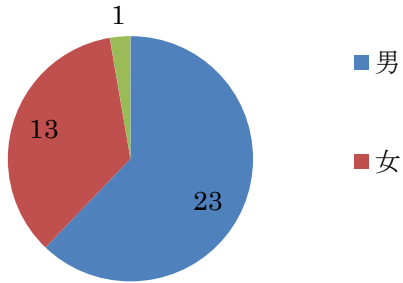
会場のアクセスはいかがでしたか？



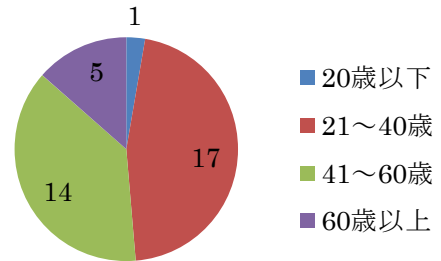
会場の設備はいかがでしたか？



性別



年齢



あなたの立場をお聞かせ下さい

